頑張れ教室長！

吾妻へっぽこくん

部活だ！期末テストだ！へっぽこくんの巻

登場人物（名前以外はノンフィクション・実話です）

ナレーター小嶋（友情出演）

オヤジ：吾妻へポ夫

母上様：吾妻へポ子

兄上様：吾妻へポ朗

主人公：吾妻へっぽこ（　↓　）

吾妻へっぽこは、中学生の時、冬だけの特設スキー部（アルペン競技）に所属していました。
夏場は体力の為、卓球部・バスケ部・バレー部を月ごとにタライマワシさせられていました。

へっぽこ：「今月はバレー部か～。めんどいし、手が痛いんだよな。バレーは」

ナレーター小嶋：当時のへっぽこは、上記のような体型ではなかったので、それなりに体育はできていました。

へっぽこ：「毎日毎日、遅くまで部活なんてやってられないよ。テスト勉強できないじゃないか」

ナレーター小嶋：へっぽこは、勉強できないことを部活のせいにしていました。もちろん！部活のせいではありません。日頃の勉強習慣がついていないためです。

へっぽこ：「今日も疲れたなぁ。帰って、テレビ見て、ゲームして寝よう。」

〔ある日の出来事〕

ナレーター小嶋：中学１年生も数か月たったある日。中間テストで 350 点以上とった結果表の男の子たちが女の子に囲まれ、ワイワイやっておりました。それを見たへっぽこは、頭が良い男の子は〔モテル〕と思い始めました。

へっぽこ：「僕もモテタイ！　２週間後は期末テストだ！」

ナレーター小嶋：３日前からやり始めた中間テストの反省から、へっぽこは２週間前に期末テストの勉強をし始めました。しかし、やっぱりへっぽこです！勉強の方法はほとんど変わっていませんでした。今回の期末テストの勉強方法は、教科書を読む。読んだところに線を引く（数学も計算のやり方などを読んで、ただ黒線をひく）というものです。線を引く。ということと、２週間の準備期間延長の進化はありましたが・・・・・

〔期末テスト・結果発表〕

へっぽこ：「・・・（ＴＯＴ）ジーザス！！　今回は頑張ったのに（本人はそう思っていました）」

ナレーター小嶋：今回も 350 点以上取れずに終わったへっぽこ。もちろん結果表（優秀者）に名前は載っておりませんでした。

へっぽこ：「絶望したぁ～。神頼みまでしたのに！エリ・エリ・レマ・サバクタニ」←調べよう

ナレーター小嶋：へっぽこの失敗は、再び教科書を読んだだけにしたことです。そして線を引くことによって勉強をやった気になっていました。さらに２度目の失敗になりますが、数学の勉強は教科書丸暗記でできると思っていたことです。教科書の答えを覚えても、テストで同じ問題が出るはずもありません。

〔テストも終わり、バレー部での練習中〕

１年４組ある女子：「ね～。へっぽこくんってバレー部じゃないよね。なんでバレー来てんの？」

へっぽこ：「！！！！！！（Ｏ－Ｏ）！！！！！」

ナレーター小嶋：へっぽこに春がやってきました。次回へ続く。

〔本日のへっぽこから学ぶ教訓〕

① 勉強にはインプットとアウトプットがあります。バランスの良い勉強が大事ということ。
② 疲れを部活のせいにするのは解るが、家での生活を見る限り勉強への考えがまだまだ甘い。
③ 自分１人で考えて勉強しているが、そもそも方法がわかっていない。勉強には情報も必要。

お子様で共感する所がございましたら・愛子教室 022-391-7551